

世界の青年が野々市を来訪～世界青年の船～

1月18日(休)、平成29年度世界青年の船事業地方プログラムの一環として、モザンビークとメキシコの青年が野々市を訪れました。

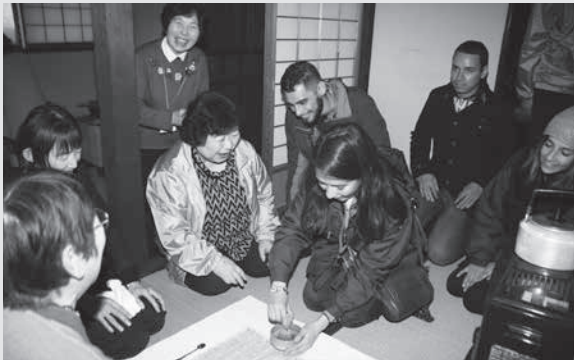
訪れた青年24人は2グループに分かれ、喜多家住宅と郷土資料館を見学。喜多家12代当主の敬次さんとののいち里まち倶楽部のメンバーが、建物の構造や歴史について英語で説明すると、「この道具は何に使うのですか」などと青年から質問が飛び出していました。

また、青年らは抹茶を体験。和菓子とともになじみのない抹茶を味わい、日本の文化を学びました。

最後に訪れた学びの杜ののいちカレードでは館内を見学した後、折り紙サークル「たればんだ」の東氏ら指導のもと、折り鶴を作成しましたが、全員が見事折り鶴を完成させました。

前週に降った大雪の影響もあり、市内の至る所に雪が積もっていましたが、自国では珍しい雪を見て青年らは大興奮でした。

参加した青年からは「抹茶がおいしかった」「雪をまとった喜多家住宅の庭が素敵だった」「すべてとてもよかったが、特に図書館はわくわくした」と満足の声が聞かれました。



平成29年度 市俳句協会新年句会

2月3日(土)、富奥防災コミュニティセンターで会員25人が参加のもと、新年句会が開催されました。市文化協会への加入25周年を記念した句会の秀句抄を紹介します。

秀句抄

<p>林和子先生</p> <p>準特選 待春やホットケーキを子等と焼き</p> <p>特選 下校児の手加減なしの雪礫<small>つがひ</small></p> <p>温もりを花芯に秘める寒牡丹</p> <p>藤谷 幸恵</p> <p>瀬戸 初枝</p>	<p>西田さい雪先生</p> <p>準特選 朝日差しるても大寒風固し</p> <p>特選 黒髪にどんどの匂ひ持ち帰る</p> <p>ころもまで歳はとるまじ初鏡</p> <p>中村 珠栄</p> <p>水橋眞智子</p>	<p>奥村誠一路先生</p> <p>準特選 初春の新図書館に字を拾ふ</p> <p>特選 黒髪にどんどの匂ひ持ち帰る</p> <p>禅堂の明けの一燈春浅し</p> <p>松本 黎子</p> <p>山田 深雪</p>	<p>入選 撫で牛の背<small>せな</small>にあそべる寒雀</p> <p>五箇山の黙<small>もだ</small>の中なる冬銀河</p> <p>ゆるやかに年重ねたり冬銀河</p> <p>奥村誠一路</p> <p>小林 清枝</p> <p>菅野 邦子</p>	<p>三位 禅堂の明けの一燈春浅し</p> <p>二位 下校児の手加減なしの雪礫<small>つがひ</small></p> <p>一位 黒髪にどんどの匂ひ持ち帰る</p> <p>南 邦夫</p> <p>瀬戸 初枝</p>	<p>入選 ころもまで歳はとるまじ初鏡</p> <p>雪すかし一行で足る日記かな</p> <p>山田 季未</p> <p>中村 珠栄</p> <p>松本 黎子</p>
--	--	--	--	---	---